

情報・システム研究機構 教育研究評議会（令和4年度第3回）議事要旨

日 時： 令和5年1月17日（火）10：00～12：00

形 式： Web会議

出席者：青木周司評議員、栗原考次評議員、高木利久評議員、長谷川真理子評議員、BENTON Caroline F. 評議員、堀浩一評議員、横田治夫評議員、藤井良一評議員（議長）、中村卓司評議員、喜連川優評議員、椿広計評議員、渡邊和良評議員、花岡文雄評議員、荒木弘之評議員、野木義史評議員（極地研）、相澤彰子評議員（情報研）、川崎能典評議員（統数研）、仁木宏典評議員（遺伝研）

オブザーバー：佐藤直樹理事、吉武博通監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議長より、前回議事要旨（令和4年度第2回）の確認が行われた。

議 題：

【審議事項】

（1）次期経営協議会の外部委員候補者

議長より資料1-1, 1-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、委嘱手続きを進めることとした。

（2）情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正

渡邊評議員より資料2-1～2-3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会で審議することとなった。なお、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが了承された。

（3）総合研究大学院大学との連携協力に関する協定書の変更について

椿評議員より資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会で審議することとなった。なお、会議後の軽微な変更について機構長に一任することが了承された。

（4）第4期中期計画の変更について

椿評議員より資料4-1～4-3に基づき選考方法等に関する説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会で審議することとなった。なお、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが了承された。

【報告事項】

(1) 教育研究評議員からの提言とその対応状況

渡邊評議員より資料5に基づき、教育研究評議員からの提言とその対応状況について報告された。

(2) 研究教育職員に係る人事異動等について

議長より資料6に基づき、研究教育職員に係る人事異動等について報告された。

(3) 三菱ケミカル株式会社との共同研究部門設置について

椿評議員より資料7に基づき、三菱ケミカル株式会社との共同研究部門設置について報告された。

【その他】

特になし

《フリーディスカッション》

●研究力の継承を担う学生や若手研究者の育成に関して、総研大の一研究科一専攻化や総研大特別研究員制度の活用、またアライアンスにおける連携も深めて、より学際的な教育や研究につなげるとともに、若手研究者のポストの確保に努めてほしい。

→研究所における若手研究者の採用等も含めて、大きな課題として認識しており、研究所において工夫していく必要がある。

●日本の学生の海外経験が減少していることに関して、機構の各研究所においても学生が積極的に海外で経験を積めるよう支援していただきたい。

→若い時期に国際的な場に出て海外の研究者と連携することは非常に重要だと考える。極地研では、総研大の制度を積極的に活用した留学等を行っている。

(次回の教育研究評議会の日程について)

- ・次回の教育研究評議会は、令和5年3月15日(水) 10:00から開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・前回議事要旨
- ・【資料1-1】経営協議会委員候補者

- ・【資料 1－2】(参考) 経営協議会規則
- ・【資料 2－1】 国立遺伝学研究所フェノタイプ研究推進センターの設置について
- ・【資料 2－2】 データサイエンス共同利用基盤施設におけるバイオデータ研究拠点の設置について
- ・【資料 2－3】 情報・システム研究機構組織運営規則 新旧対照表 (遺伝研・DS)
- ・【資料 3】 総研大協定関係資料
- ・【資料 4－1】 中期目標 (又は中期計画) 新旧対照表 (案)
- ・【資料 4－2】 進捗状況確認の概要
- ・【資料 5】 教育研究評議会評議員からの提言等とその対応状況
- ・【資料 6】 研究教育職員に係る人事異動等について
- ・【資料 7】 三菱ケミカル株式会社との共同研究部門設置について (統計数理研究所)